

令和 3 年 5 月 31 日現在

機関番号：14401

研究種目：基盤研究(S)

研究期間：2015～2019

課題番号：15H05728

研究課題名（和文）長期不況の行動経済学的分析

研究課題名（英文）Behavioral-Economic Analysis of Long-Run Stagnation

研究代表者

小野 善康 (Ono, Yoshiyasu)

大阪大学・社会経済研究所・特任教授（常勤）

研究者番号：70130763

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 155,250,000円

研究成果の概要（和文）：従来の経済学では不況を短期現象としてしか扱えず、現在多くの先進国を苦しめている長期不況を取り扱うことができない。また、それに基づいた経済政策も、思うような効果を上げていない。本研究では、マクロ経済動学の枠組みに金融資産保有選好や地位選好などの行動経済学的な人間行動を多面的に組み込み、長期不況のメカニズムを解明する新たな枠組みで分析した。また、それに基づき、長期不況に対処する経済政策や制度改革につながる研究をさまざまな角度から行った。

研究成果の学術的意義や社会的意義

現在、多くの先進国が長期不況下にあり、従来の経済学に基づいた経済政策を試しているが、なかなか出口が見えない。その理由は、従来の経済学が不況を短期現象としてしか扱えなかったためである。本研究では、マクロ経済動学の枠組みに従来考えられていなかった金融資産選好などの人間行動を多面的に導入し、長期不況を解く新たな理論的枠組みを構築しており、学術的意義は大きい。このような人間行動の妥当性については、計量経済学、経済実験、アンケート調査などの手法を取り入れて検証した。さらに、長期不況経済に必要な経済政策や制度改革を研究しており、実践的な意義もある。

研究成果の概要（英文）：We conducted questionnaire survey and constructed longitudinal panel data to detect people's preferences for liquidity and financial assets, relative preferences for wealth over consumption, hyperbolic time discounting, etc. By incorporating those insights into dynamic closed- and open-economy frameworks, we theoretically examined the mechanism of secular demand stagnation, and analyzed the effects of an improvement in productivity, monetary and fiscal policies, and trade restraints on the stagnation. Those findings are applied to analyze Japan's stagnation. Furthermore, we explored potential microeconomic remedies for the stagnation by utilizing game theory, mechanism design theory, public economics and industrial organization.

研究分野：社会科学、経済学、理論経済学

キーワード：長期不況 資産効果 地位選好 行動経済学 経済実験 制度設計理論

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

日本経済は 1990 年頃を境に、それまでの順調な成長局面から 20 年以上も続く長期不況に陥った。同様の事態は欧米諸国でも現れている。従来の経済学ではこの不況を短期の調整局面としてしか考えず、経済政策も短期不況を念頭にしており、思うような成果が出ていない。実際、以前には効果のあった金融緩和が、近年まったく効果を失っている。そのため、新たな長期不況の理論の確立が急務である。

2. 研究の目的

本研究では、マクロ経済動学の枠組みに従来考慮されていなかった多面的な人間行動を導入し、長期不況を解く理論的枠組みを確立する。また、本理論の前提となる人間行動の妥当性については、計量経済学とともに実験経済学的手法も取り入れて検証する。さらに、長期不況に陥った経済に必要な経済政策や制度改革のあり方を検討する。

3. 研究の方法

上述の行動経済学的仮説を、経済実験やアンケートなどの行動経済学的手法と計量経済学によって解明し、長期不況をもたらす要因となる人間行動を抽出する。つぎに、この分析結果に基づいて既存の動学マクロ経済理論を再構成し、長期不況が発生する可能性を探るとともに、金融財政政策や市場効率化などが総需要に及ぼす効果を分析する。さらに、メカニズム・デザイン、産業組織論、公共経済学などの研究手法を活用しながら、総需要不足をもたらす遊休資源を活用するための制度設計を試みる。

4. 研究成果

前述の目的を達成するために、本研究では、研究計画調書において以下の 3 つのテーマを設定した。以下、テーマごとに研究成果を説明する。

[テーマ 1] 長期不況分析のための新たな理論的枠組みを構築するとともに、長期不況から抜け出すための方策について、以下に説明するように様々な観点から理論的に分析を進めた。

資産保有への選好を持つ家計の最適行動を、貨幣経済の動学的一般均衡の枠組みに導入し、総需要不足をもたらす長期不況を説明することのできる小野のモデル(Ono, 1994, Oxford UP; Ono, 2001, International Economic Review)を発展的に再構成し、ミクロ的基礎を持つ非常に簡潔な有効需要分析を構築した。この分析は、形式的には、旧ケインジアンが提示した消費関数や、財政乗数効果と同じ数学的構造を持つが、経済的含意は、ミクロ的基礎のない旧ケインジアンの分析とはまったく異なる。たとえば、消費関数と同じ構造を持つ総需要と消費との関係が求まり、従来、限界消費性向と言われた消費の総需要に関する微係数も、旧来の消費関数と同様に 0 と 1 の間の値を持つ。しかし、そこには所得の一部を消費に回すという意味はなく、総需要によって決まる物価変化率が消費貯蓄選択を通して消費を決めるという関係を表しており、さらに、それが動学経路の存在と安定性を保証する条件となる。

また、本分析が示す財政支出の景気刺激効果は、形式的には旧ケインジアンの乗数効果と同様であるが、財政支出が民間の持つお金を増やすからではなく、雇用創出によってデフレを緩和し、資産保有よりも消費を有利にするからである。これについて、旧来の分析では、財政支出の金額が景気の刺激に重要であると思われていたため、赤字財政による減税や補助金などのばらまき政策が助長された。これに対し、本分析では、景気への影響は財政支払われた金額とは関係がなく、財政支出によって直接に創出された雇用量が重要であり、単なるばらまき政策では景気刺激効果のないことが示された。本研究は Murota and Ono (2015, Economic Modelling) として公刊された。

上記の研究を 2 財からなる小国開放経済に拡張し、自国の生産部門は一つの財に特化しており、家計は資産選好を持って動学的最適化行動を行っていると考えて、非常に簡潔な開放経済体系での総需要分析の手法を確立した。そこでは、上記で求めた新しい消費関数はそのまま成立するが、消費貯蓄選択に影響を与えるデフレ・ギャップを決める需要は、自国製品への国内需要および輸出需要であり、そのため、総需要から外国からの利子配当支払いを差し引いた値になる。この修正を加えれば、新しい消費関数を使った閉鎖経済体系での分析方法が、ほぼそのまま小国開放体系でも適用できることを明らかにした。さらに、新たな要素として、対外資産の保有高の大小が景気に与える影響も分析した。その結果、為替レート調整を通じた自国製品と外国製品の相対価格の変化を通して、対外資産を多く持っているほど自国の消費需要が外国製品に流れ、自国製品に対する需要が減って、不況が深刻化することが分かった。この結果は、外貨を稼ぐほど豊かになるという完全雇用を前提とした従来の通念とは、まったく反対である。本研究は、Hashimoto and Ono (2020, Economic Modelling) として公刊された。

資産選好と流動性選好を区別することにより、ゼロ金利のもとで長期不況が生まれることを明らかにした(Ono, 2016, Springer)。非飽和的な流動性選好を前提にした長期不況理論では、名目利子率が正に留まることが求められ、他方、現実の先進国経済ではゼロ金利が続いていることから、矛盾が指摘されていた。しかし、非飽和的な流動性選好とは、取引動機だけを考慮した貨幣への選好では説明できず、資産保有への選好として解釈されるべきものであった。そのため、貨幣に対する流動性選好を金融資産全体に対する資産選好に置き換えると、利子率はいろいろ

な金融資産相互の資産選好を満たす程度の違いを表すに過ぎないことがわかった。たとえば、実質貨幣量が拡大して取引に必要な量を越えれば、資産としては国債などと同じ意味しか持たないため、利子率はゼロになるが、この利子率は国債と貨幣の流動性の違いがないことを示すだけであり、資産選好の程度を表すわけではない。消費貯蓄選択は、資産選好と時間選好の比較によって行われるため、ゼロ金利でも資産選好が残り、消費が慢性的に低迷する。

資産選好の一例として地位選好を考え、それが長期不況を引き起こす可能性を探った。具体的には、社会の平均資産保有量に比べた自分の保有量の相対的地位が、家計の効用に影響を与える場合を考えた。資産を比較する指標には差と比が考えられる。本研究では、はじめに、比によって地位を感じる場合には長期不況は起こらないが、差であれば長期不況に陥る可能性のあることを、理論的に証明した。さらに、48000件以上のサンプルサイズを持つ経済実験の結果を使い、人々が差と比のどちらの方を気にしているかを統計的に調べた結果、圧倒的に差の方を気にすることを明らかにした。このことは、資産に関する地位選好の性質が、実際に、本研究で示しているような長期不況を起こす可能性のあることを意味している。本研究は、Ono and Yamada (2018, Australian Economic Papers)として公刊された。

日本では、1960年代から80年代初頭まで好況が続いて経済は成長し続けたが、90年代以降、慢性的需要不足に直面して長期不況に陥っている。本研究では、家計が資産選好を持つ場合、潜在生産力が低い段階では生産力の拡大に伴って需要も拡大し、経済は完全雇用を保ったまま順調に成長するが、潜在生産力が一定水準を超えると、需要の伸びが止まり、需要不足の長期停滞に陥ったままデフレが進行する動学経路を導き出した。景気変動に関する従来のほとんどの研究では、何らかの外生的な需要あるいは供給ショックによって短期的に不況が起こるが、長期的には完全雇用成長経路にもどる、という性質を導く。本研究では、外生ショックなしに、成長から長期不況に至る動学経路が導かれており、従来の結果とは順序が反対である。この結論は、高度経済成長から一転して長期不況に陥った日本経済の動きに、より合致している。(Ono, ISER DP no.946, 2015)

バブル崩壊以降、不動産価格が低下して、住宅を担保とする借入金の返済や新たな借り入れが困難になり、借り手の資金不足が起こって消費が低迷している、という見方が広がり、その方向での研究が広く行われている。このことの正否を確かめるために、本研究では、資金の借り入れ制約を本長期不況理論の枠組みに導入するとともに、時間選好の異なる2つのタイプの家計を考え、借入制約を緩めた場合の景気への効果を分析した。その結果、借入制約の緩和により、時間選好の高い借り手の借入額が増えるため、短期的には、従来の理論が指摘しているように、需要が膨らみ住宅価格の高騰と景気高揚が起こるが、長期的には借り手の負債がますます増えて、所得を消費に回すことができなくなり、総需要不足が広がって不況の深刻化が増すことが明らかになった。この結果は、借入制約が不況を長期化させ、深刻化させているという従来のマクロ経済学の見解とはまったく反対であるとともに、他方で、銀行の住宅資金の貸し出し競争によって発生した日本の不動産バブルと崩壊、その後の消費低迷と不況の長期化という歴史的経緯とは整合的である。本研究は Illing, Ono and Schlegl (2018, European Economic Review) として公刊された。

また借入制約がもたらす消費低迷の解決策として、資産価格の低迷による不況の深刻化を防ぐための経済政策や、不況下において資産価格を事後的に上昇させる経済政策に関する評価も行っている(Katagiri, Kato and Tsuruga, 2017, Economic Theory)。

国内需要の低迷に伴い、需要創出の手段として海外需要に期待する声が高まっている。その是非を理論的に分析するために、上記の長期不況理論を2国モデルに拡張し、外国の需要や生産性の拡大が、不況に直面する自国経済に与える影響を分析した。その結果、外国の所得拡大による輸入需要の増大や、外国政府による自国製品の輸入拡大は、当初、自国の輸出を増やして雇用を生むが、円高調整が起こって、結局は、自国製品が国際競争力を失い、景気はかえって悪化することが示された(Ono, 2018, Japanese Economic Review)。

2国開放経済のモデルは、同一国内の異なる2地域の経済分析にも応用できる。本プロジェクトでは、地域間の様々な経済条件の違いが、地域間の価格差をもたらすことに注目し、地域間での総需要予測の違いから地域間での価格差を説明する理論モデルを構築した。また、その結果を実証的に検証した。(Crucini, Shintani and Tsuruga, 2015, Journal of Monetary Economics)

つぎに、地域間での失業状況の違いを組み込みながら地域間労働移動を考慮し、特定地域へのいろいろな補助金が、当該地域の雇用、生産活動、住民の経済厚生に与える影響を分析した。ここで考えた補助金とは、地元住民への給付金、地域企業への雇用補助金、生産補助金、流入を促進するための労働補助金である。その結果、直接的な給付金と生産や雇用を促進する補助金のどちらが地元住民にとって望ましいかが、補助金を支払う地域と受け取る地域の雇用状況の組み合わせに応じて、大きく異なってくるということが分かった。(Matsuzaki and Ono, 2018, ISER Discussion Paper)

本長期不況理論を日本経済の現状分析に応用し、日本のデータを使いながら、日本経済が抱える諸問題の解明と政策分析を行った。また、その内容を研究者とともに政策担当者や一般読者にも公表するために、2016年4月より2019年3月まで、合計38回にわたって朝日新聞紙上に連載した(大阪版180万部、および電子版)。当連載のうち、はじめの35回分については大幅に加筆修正し、『消費低迷と日本経済』(朝日新書、2017.11)として出版した。さらに、資産選

好を伴う消費貯蓄選択の基本方程式を応用して、日本経済の長期不況、財政金融政策の非有効性、労働生産性の低さなどの現実の諸問題を分析し、不況に対処するための政策を提示して、その内容をヨーロッパの政策担当者に向けても英文でまとめ、刊行した(Ono, 2019, *Intereconomics/ Review of European Economic Policy*)。

[テーマ2] 21世紀COEプログラムとGCOEプログラムのアンケート調査パネルデータを引き継ぎ、3年間にわたり、本分析の前提を実証面から検討する新規調査を実施した。過去に蓄積したパネル情報と本調査結果を統合的に利用できるよう工夫した。調査は訪問留置法によって行われ、約90%という高い回収率を得ることができた。また、研究および授業での利用を目的として、本プロジェクトで回収した調査データを本プロジェクトメンバー外の研究者や大学院生でも利用できるよう、環境整備を行った。

テーマ1では、資産保有への選好やその一例である地位選好などが、消費が慢性的に低迷や長期不況などのマクロ経済における変則現象に關与していることを示した。上のアンケート調査のデータは、その結果を実証的にサポートした。さらに、以下のように、リスク回避度や時間選好率など係る様々な研究を行った。

伝統的な経済学では、人々の行動を規定する選好パラメータは、個人の一生を通して不変だと考えられている。しかし近年の行動経済学における研究では、様々な経験を通して成人後も選好パラメータは変化するとされている。個人の選好パラメータを測定する質問を繰り返し実施している、本研究のパネルデータの特性を利用して、この問いを実証的に検定することができる。また、このパネルは選好パラメータの中でも、特に時間選好について複数種類の質問が設けられている点が、日本国内外の他のアンケート調査と比べて珍しい特徴であり、Akesaka (2019, *Journal of Economic Behavior & Organization*)は、この特徴を活用した研究を行った。個人の時間選好を評価する際、目先の利益が遠い先の利益よりも大きく見えてしまう傾向である双曲割引を許す()モデルのパラメータを、アンケート調査における複数の質問の回答を組み合わせ、それぞれ導出し、東日本大震災の津波被害を受けた地域の人々の間で、震災後にこの双曲割引の傾向が強くなっていることを明らかにした。Hanaoka, Shigeoka & Watanabe (2018, *American Economic Journal: Applied Economics*)は、同じく東日本大震災の被害によってリスク回避度が低下したことを明らかにした。

健康維持のための行動は、短期的ではなく長期的に効果を発揮する、換言すれば、短期的には便益より費用が勝り、長期的には費用より便益が勝る。したがって、健康状態は、時間選好と密接に關係していると考えられる。Kang & Ikeda (2016, *Economics & Human Biology*)は、アンケートにより、時間選好率が高い人ほど、健康状態が悪いことを示した。Kameda, Inukai, Higuchi, Ogawa, Kim, Matsuda, & Sakagami (2016, *Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America*)は、経済実験とfMRI実験により、リスク選好と社会選好も密接に關係しており、リスク回避的な人(Maximin)ほど最貧者の厚生を重視するRawlsian的な傾向があることを示した。

さらに、長期不況理論のミクロ的基礎づけを広げるため、多面的な人間行動に関する行動経済学的研究に取り組んだ。Aoyagi, Bhaskar & Fréchet (2019, *American Economic Journal: Microeconomics*)は、長期的な關係がある状況で、相手の行動があいまいな形で観察できる場合にも協力關係が成立し得るかどうかを経済実験により分析した。

[テーマ3] 当該テーマでは、有効需要創出のために余剰資源の活用につながる様々な研究を行った。

現在の資源配分の状況を変更することによって、余剰資源の活用につながる場合がある。例えば、マンションの建て替えである。現在、高度成長時代に建設された膨大な数のマンションの多くが老朽化して、建て替えが必要になっている。そのため、潜在的に膨大な建て替え需要があり、それらが新規雇用を創出し、余剰資源の活用を促す可能性がある、しかし、建て替える際の費用負担と居住権の移転に関するマンション居住者間の交渉は極めて難しく、実際に建て替えられた例はごくわずかである。そのような建て替え交渉をスムーズに進ませるようなメカニズムを構築できれば、多くの余剰資源が有効活用されるようになる。この目的に沿って、居住権を効率的に配分するためのメカニズムや、建て替え費用を賄うために居住権配分にもとまらう収入が最大化するようなメカニズムの設計に取り組んだ。

効率的配分のためのメカニズムでは、戦略的行動のインセンティブを抑え、居住権への需要に関する真の情報を引き出すことが重要である。そのようなメカニズムは「耐戦略的」と呼ばれている。Kazumura & Serizawa (2016, *Social Choice & Welfare*)は、耐戦略的かつ居住権を効率的に配分するメカニズムの設計可能性を理論的に分析した。Zhou & Serizawa (2018, *Games and Economic Behavior*)は、「最小価格競争均衡メカニズム」と呼ばれるルールが耐戦略的であり、かつ効率的な配分をもたらす唯一のルールであることを示した。Kazumura, Mishra & Serizawa (2020, *Journal of Economic Theory*)と Sakai & Serizawa (Forthcoming, *Social Choice & Welfare*)は、最小価格競争均衡メカニズムが収入を最大化する上でもこのメカニズムが望ましいことを理論的に示した。さらに、Kazumura, Mishra & Serizawa (2020, *Theoretical Economics*)は、耐戦略的なメカニズムが、monotonicity という条件によって一般的に特徴づけられることを示した。

テーマ1の研究成果として、余剰資源を活用するためには、イノベーションの創出が重要であ

ることが示されており、イノベーションの創出に関連した研究を積極的に行った。

イノベーションは資金を持つ経営者が技術と労働力を持つ技術者を雇用することによって創出される場合が多く、経営者がどのくらいの期間にわたって資金を投入して技術者にイノベーションを試みさせるか、技術者がどのくらいの労働力を投入するかによって、成功は左右される。Chen & Ishida (2018, *Journal of Economic Theory*)は、bandit モデルを拡張することによって、経営者の資金投入期間と技術者の労働力投入を分析した。

イノベーションの創出は、ベンチャー企業によってなされる場合が多い。技術開発力に自信がある企業ほど、特定の開発プロジェクトに投資し続けることによって利益が期待できる一方、そのような企業ほど開発可能性を早く判断できるのでプロジェクトをストップする。したがって、技術開発力とプロジェクト投資期間の関係は複雑である。さらに、ベンチャー企業は、マーケットの評判を考慮する必要がある。Chen, Ishida & Suen (Forthcoming, *Journal of the European Economic Association*)は、マーケットの評判を考慮したベンチャー企業のプロジェクト投資期間を分析した。

イノベーションの創出は、携帯電話、家庭用ビデオなど、市場での標準規格の採用競争を伴うことが多く、その結果はイノベーションそのものも左右する。Chen & Ishida (Forthcoming, *Journal of Industrial Economics*)は、新規規格の市場での採用競争を分析し、技術的に劣る企業が優勢になる可能性を示した。

イノベーションの創出には、R&D 投資が必要である。Inés Macho-Stadler, Noriaki Matsushima, Ryusuke Shinohara (Forthcoming, *Journal of Industrial Economics*)は、寡占モデルを用いて、産業において川上企業と川下企業が分離されているか、統合されているかが R&D 投資と非常に密接な関係があることを示した。

経済取引にコンピュータ・情報技術が大規模に導入され、以前は想像することさえできなかった形態の取引が出現している。そのような取引は新たな需要を生み出し、余剰資源の活用を促進する可能性がある。その可能性を検討するため、コンピュータ・情報技術を通じた取引があるさまざまな状況での企業行動や競争について分析も行った。

Choe, King & Matsushima (2017, *Management Science*)と Chen, Choe & Matsushima (*Management Science*, 2020)は、企業が消費者のデータを取得しそのデータに基づいて製品差別化や価格設定を行う状況での企業間競争を分析した。Colombo & Matsushima (2020, *Review of Industrial Organization*)では、インターネットが得意な消費者と苦手な消費者と混在しているマーケットにおける小売企業間の競争を分析した。コンピュータ・情報技術に基づいた製品には、「ネットワーク財」と呼ばれ、より多くの消費者が同じ商品を使うほど、その商品の価値が増加するものがある。Aoyagi (2018, *Journal of Economic Theory*)は、競争的にネットワーク財を供給する企業の価格設定を分析した。さらに、Aoyagi, Gunay & Bhalla (*Journal of Economic Theory*, 2016)は、購買行動による消費者間の情報伝達のある経済での企業の寡占的行動を分析した。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計104件（うち査読付論文 72件 / うち国際共著 32件 / うちオープンアクセス 31件）

1. 著者名 Colombo Stefano、Matsushima Noriaki	4. 巻 57
2. 論文標題 Competition Between Offline and Online Retailers with Heterogeneous Customers	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Review of Industrial Organization	6. 最初と最後の頁 647 ~ 664
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11151-019-09734-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1. 著者名 Hashimoto Ken-ichi、Ono Yoshiyasu	4. 巻 91
2. 論文標題 A simple aggregate demand analysis with dynamic optimization in a small open economy	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Economic Modelling	6. 最初と最後の頁 89 ~ 99
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.econmod.2020.04.019	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Kazumura Tomoya、Mishra Debasis、Serizawa Shigehiro	4. 巻 15
2. 論文標題 Mechanism design without quasilinearity	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Theoretical Economics	6. 最初と最後の頁 511 ~ 544
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3982/TE2910	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Hanaki Nobuyuki	4. 巻 71
2. 論文標題 Cognitive ability and observed behavior in laboratory experiments: implications for macroeconomic theory	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 The Japanese Economic Review	6. 最初と最後の頁 355 ~ 378
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s42973-019-00018-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Dawid Herbert、Hanaki Nobuyuki、Tuinstra Jan	4. 巻 110
2. 論文標題 Introduction for the special issue on “Experimental and behavioral analyses in macroeconomics and finance”	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Economic Dynamics and Control	6. 最初と最後の頁 103806 ~ 103806
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jedc.2019.103806	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Zylbersztejn Adam、Babutsidze Zakaria、Hanaki Nobuyuki	4. 巻 170
2. 論文標題 Preferences for observable information in a strategic setting: An experiment	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Economic Behavior & Organization	6. 最初と最後の頁 268 ~ 285
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jebo.2019.12.009	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Ferreira Joao V.、Hanaki Nobuyuki、Tarrowx Benoit	4. 巻 119
2. 論文標題 On the roots of the intrinsic value of decision rights: Experimental evidence	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Games and Economic Behavior	6. 最初と最後の頁 110 ~ 122
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.geb.2019.10.008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Chen Zhijun、Choe Chongwoo、Matsushima Noriaki	4. 巻 66
2. 論文標題 Competitive Personalized Pricing	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Management Science	6. 最初と最後の頁 4003 ~ 4023
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1287/mnsc.2019.3392	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Ono Yoshiyasu	4. 巻 54
2. 論文標題 Japanese Economy: Two Lost Decades and How Many More?	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Intereconomics	6. 最初と最後の頁 291 ~ 296
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10272-019-0841-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yoshiyasu Ono and Ken-ichi Hashimoto	4. 巻 1
2. 論文標題 Consumption Function and Keynesian Cross under Dynamic Optimization	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Review of Keynesian Studies	6. 最初と最後の頁 135 ~ 156
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.34490/revkeystud.1.0_135	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Immigration and Secular Stagnation	4. 巻 1054
2. 論文標題 Kaz Miyagiwa and Yoshiyasu Ono	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ISER Discussion Paper	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Takehito Masuda, Toyotaka Sakai, Shigehiro Serizawa and Takuma Wakayama	4. 巻 1048
2. 論文標題 A Strategy-Proof Mechanism should be Announced to be Strategy-Proof: An Experiment for the Vickrey Auction	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ISER Discussion Paper	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yoshio Kamijo, Takehito Masuda and Hiroshi Uemura	4. 巻 1064
2. 論文標題 Who is Audited? Experimental Study of Rule-Based Tax Auditing [Supplementary Material]	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ISER Discussion Paper	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Duchene Sebastien, Guerci Eric, Hanaki Nobuyuki, Noussair Charles N.	4. 巻 107
2. 論文標題 The effect of short selling and borrowing on market prices and traders' behavior	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Economic Dynamics and Control	6. 最初と最後の頁 103734 ~ 103734
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jedc.2019.103734	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Akesaka Mika	4. 巻 166
2. 論文標題 Change in time preferences: Evidence from the Great East Japan Earthquake	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Economic Behavior & Organization	6. 最初と最後の頁 239 ~ 245
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jebo.2019.08.013	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ryo Kato, Tatsushi Okuda, and Takayuki Tsuruga	4. 巻 1082
2. 論文標題 Sectoral Inflation Persistence, Market Concentration and Imperfect Common Knowledge	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ISER Discussion Paper	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ryo Kato and Takayuki Tsuruga	4. 巻 1078
2. 論文標題 Pecuniary Externalities, Bank Overleverage, and Macroeconomic Fragility	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ISER Discussion Paper	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Taisuke Kameda, Ryoichi Namba and Takayuki Tsuruga	4. 巻 1065
2. 論文標題 Decomposing Local Fiscal Multipliers: Evidence from Japan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ISER Discussion Paper	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Taisuke Kameda, Ryoichi Namba and Takayuki Tsuruga	4. 巻 348
2. 論文標題 Decomposing Local Fiscal Multipliers: Evidence from Japan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ESRI Discussion Paper	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ryo Horii and Yoshiyasu Ono	4. 巻 1085
2. 論文標題 Financial Crisis and Slow Recovery with Bayesian Learning Agents	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ISER Discussion Paper	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Lu Yi, Wang Jin, Zhu Lianming	4. 巻 11
2. 論文標題 Place-Based Policies, Creation, and Agglomeration Economies: Evidence from China's Economic Zone Program	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 American Economic Journal: Economic Policy	6. 最初と最後の頁 325 ~ 360
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1257/pol.20160272	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Shibata Akihisa, Shintani Mototsugu, Tsuruga Takayuki	4. 巻 92
2. 論文標題 Current account dynamics under information rigidity and imperfect capital mobility	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of International Money and Finance	6. 最初と最後の頁 153 ~ 176
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jimonfin.2018.12.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tsuruga Takayuki, Wake Shota	4. 巻 104
2. 論文標題 Money-financed fiscal stimulus: The effects of implementation lag	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Economic Dynamics and Control	6. 最初と最後の頁 132 ~ 151
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jedc.2019.05.007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Chongwoo Choe and Noriaki Matsushima	4. 巻 1079
2. 論文標題 Behavior-Based Price Discrimination and Product Choice	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ISER Discussion Paper	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ines Macho-Stadler, Noriaki Matsushima and Ryusuke Shinohara	4. 巻 1069
2. 論文標題 Organizational Structure and Technological Investment	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ISER Discussion Paper	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Stefano Colombo and Noriaki Matsushima	4. 巻 1056
2. 論文標題 Competition between Offline and Online Retailers with Heterogeneous Customers	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ISER Discussion Paper	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Chia-Hui Chen, Junichiro Ishida and Wing Suen	4. 巻 1060
2. 論文標題 Reputation Concerns in Risky Experimentation	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ISER Discussion Paper	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Junichiro Ishida and Tsuyoshi Takahara	4. 巻 1058
2. 論文標題 Advertising Regulations in Pharmaceutical Markets: Product versus Enlightenment	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ISER Discussion Paper	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsushima Noriaki、Shinohara Ryusuke	4. 巻 175
2. 論文標題 Pre-negotiation commitment and internalization in public good provision through bilateral negotiations	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Public Economics	6. 最初と最後の頁 84 ~ 93
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jpube.2019.03.009	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Schummer James、Serizawa Shigehiro	4. 巻 2019.11
2. 論文標題 The Role of Characterizations in Market Design	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 The Future of Economic Design	6. 最初と最後の頁 201 ~ 211
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-3-030-18050-8_28	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Masaki Aoyagi and Seung Han Yoo	4. 巻 No. 1072
2. 論文標題 Matching Platforms	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ISER Discussion Paper	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ono Yoshiyasu、Yamada Katsunori	4. 巻 57
2. 論文標題 Difference or Ratio: Implications of Status Preference on Stagnation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Australian Economic Papers	6. 最初と最後の頁 346 ~ 362
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1467-8454.12128	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Illing Gerhard, Ono Yoshiyasu, Schlegl Matthias	4. 巻 108
2. 論文標題 Credit booms, debt overhang and secular stagnation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 European Economic Review	6. 最初と最後の頁 78 ~ 104
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.eurocorev.2018.06.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Choe Chongwoo, King Stephen, Matsushima Noriaki	4. 巻 64
2. 論文標題 Pricing with Cookies: Behavior-Based Price Discrimination and Spatial Competition	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Management Science	6. 最初と最後の頁 5669 ~ 5687
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1287/mnsc.2017.2873	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Matsushima Noriaki, Yoshida Shohei	4. 巻 86
2. 論文標題 The Countervailing Power Hypothesis when Dominant Retailers Function as Sales Promoters	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 The Manchester School	6. 最初と最後の頁 665 ~ 680
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/manc.12221	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Zhou Yu, Serizawa Shigehiro	4. 巻 109
2. 論文標題 Strategy-proofness and efficiency for non-quasi-linear and common-tiered-object preferences: Characterization of minimum price rule	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Games and Economic Behavior	6. 最初と最後の頁 327 ~ 363
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.geb.2017.12.019	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Chen Chia-Hui、Ishida Junichiro	4. 巻 177
2. 論文標題 Hierarchical experimentation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Economic Theory	6. 最初と最後の頁 365 ~ 404
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jet.2018.06.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Chen Chia-Hui、Ishida Junichiro	4. 巻 66
2. 論文標題 Dynamic performance evaluation with deadlines: The role of commitment	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 The Journal of Industrial Economics	6. 最初と最後の頁 377 ~ 422
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/joie.12174	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Aoyagi Masaki、Bhaskar V.、Frechette Guillaume R.	4. 巻 11
2. 論文標題 The Impact of Monitoring in Infinitely Repeated Games: Perfect, Public, and Private	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 American Economic Journal: Microeconomics	6. 最初と最後の頁 1 ~ 43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1257/mic.20160304	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Aoyagi Masaki	4. 巻 178
2. 論文標題 Bertrand competition under network externalities	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Economic Theory	6. 最初と最後の頁 517 ~ 550
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jet.2018.10.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Masuda Takehito、Lee Eungik	4. 巻 22
2. 論文標題 Higher order risk attitudes and prevention under different timings of loss	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Experimental Economics	6. 最初と最後の頁 197 ~ 215
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10683-018-9588-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Saijo Tatsuyoshi、Masuda Takehito、Yamakawa Takafumi	4. 巻 51
2. 論文標題 Approval mechanism to solve prisoner's dilemma: comparison with Varian's compensation mechanism	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Social Choice and Welfare	6. 最初と最後の頁 65 ~ 77
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00355-017-1107-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sekine Atsushi、Tsuruga Takayuki	4. 巻 70
2. 論文標題 Effects of commodity price shocks on inflation: a cross-country analysis	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Oxford Economic Papers	6. 最初と最後の頁 1108 ~ 1135
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/oep/gpy015	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ishida Junichiro、Shimizu Takashi	4. 巻 68
2. 論文標題 Cheap talk when the receiver has uncertain information sources	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Economic Theory	6. 最初と最後の頁 303 ~ 334
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00199-018-1123-y	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Jean-Baptiste Michau, Yoshiyasu Ono and Matthias Schlegl	4. 巻 1035
2. 論文標題 Wealth Preference and Rational Bubbles	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ISER Discussion Paper	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Daisuke Matsuzaki and Yoshiyasu Ono	4. 巻 1041
2. 論文標題 Regional Subsidies and Interregional Labor Movement	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ISER Discussion Paper	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takehito Masuda, Toyataka Sakai, Shigehiro Serizawa, and Takuma Wakayama	4. 巻 1048
2. 論文標題 A Strategy-Proof Mechanism Should Be Announced to Be Strategy-Proof: An Experiment for the Vickrey Auction	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ISER Discussion Paper	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yu Zhou and Shigehiro Serizawa	4. 巻 1047
2. 論文標題 Minimum Price Equilibrium in the Assignment Market	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ISER Discussion Paper	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takehito Masuda and Eungik Lee	4. 巻 1034
2. 論文標題 Higher Order Risk Attitudes and Prevention under Different Timing of Loss	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ISER Discussion Paper	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Akihisa Shibata, Mototsugu Shintani and Takayuki Tsuruga	4. 巻 1036
2. 論文標題 Current Account Dynamics under Information Rigidity and Imperfect Capital Mobility	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ISER Discussion Paper	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takayuki Tsuruga and Shota Wake	4. 巻 1038
2. 論文標題 Money-Financed Fiscal Stimulus: The Effects of Implementation Lag	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ISER Discussion Paper	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kevin X. D. Huang, Munechika Katayama, Mototsugu Shintani, and Takayuki Tsuruga	4. 巻 1046
2. 論文標題 Sticky-Wage Models and Knowledge Capital	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ISER Discussion Paper	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 池田 新介	4. 巻 12
2. 論文標題 セルフコントロールの行動経済学	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 行動経済学	6. 最初と最後の頁 62-74
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Hanaoka Chie, Shigeoka Hitoshi, Watanabe Yasutora	4. 巻 10
2. 論文標題 Do Risk Preferences Change? Evidence from the Great East Japan Earthquake	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 American Economic Journal: Applied Economics	6. 最初と最後の頁 298 ~ 330
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1257/app.20170048	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kitamura Hiroshi, Matsushima Noriaki, Sato Misato	4. 巻 56
2. 論文標題 Exclusive contracts with complementary inputs	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 International Journal of Industrial Organization	6. 最初と最後の頁 145 ~ 167
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijindorg.2017.11.005	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Lee Sun Youn, Ohtake Fumio	4. 巻 49
2. 論文標題 Is being agreeable a key to success or failure in the labor market?	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of the Japanese and International Economies	6. 最初と最後の頁 8 ~ 27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jjie.2018.01.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Zhang Lin, Ikeda Shinsuke	4. 巻 10
2. 論文標題 Intergenerational Transmission of Authoritative Parenting Style: Evidence from Japan	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 International Journal of Economics and Finance	6. 最初と最後の頁 64 ~ 64
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5539/ijef.v10n1p64	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ono Yoshiyasu	4. 巻 No.1017
2. 論文標題 Country Size, Specialization Patterns and Secular Demand Stagnation	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 ISER Discussion Paper	6. 最初と最後の頁 1-35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ono Yoshiyasu	4. 巻 69
2. 論文標題 Macroeconomic Interdependence Between a Stagnant and a Fully Employed Country	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 The Japanese Economic Review	6. 最初と最後の頁 450 ~ 477
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jere.12156	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsushima Noriaki	4. 巻 24
2. 論文標題 Expanding distribution channels	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Asia-Pacific Journal of Accounting & Economics	6. 最初と最後の頁 464 ~ 484
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/16081625.2016.1188453	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大竹文雄・明坂弥香	4. 巻 55
2. 論文標題 日本の個人資産運用と行動経済学的特性	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 証券アナリストジャーナル	6. 最初と最後の頁 16-24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Duttile Kai, Inukai Keigo	4. 巻 18
2. 論文標題 Implications from Biased Probability Judgments for International Disparities in Momentum Returns	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Behavioral Finance	6. 最初と最後の頁 143 ~ 151
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/15427560.2017.1308937	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Horita Yutaka, Takezawa Masanori, Inukai Keigo, Kita Toshimasa, Masuda Naoki	4. 巻 7
2. 論文標題 Reinforcement learning accounts for moody conditional cooperation behavior: experimental results	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 doi:10.1038/srep39275	6. 最初と最後の頁 39275 ~ 39275
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep39275	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tomoya Kazumura, Debasis Mishra, Shigehiro Serizawa	4. 巻 1001
2. 論文標題 Strategy-Proof Multi-Object Auction Design: Ex-Post Revenue Maximization with No Wastage	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 ISER Discussion Paper,	6. 最初と最後の頁 1-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Katagiri Mitsuru, Kato Ryo, Tsuruga Takayuki	4. 巻 63
2. 論文標題 Prudential capital controls or bailouts? The impact of different collateral constraint assumptions	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Economic Theory	6. 最初と最後の頁 943 ~ 960
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00199-016-0975-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Gerhard Illing, Yoshiyasu Ono, and Matthias Schlegl	4. 巻 988
2. 論文標題 Credit Booms, Debt Overhang and Secular Stagnation	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 ISER Discussion Paper	6. 最初と最後の頁 1-44
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kang Myong-Il, Ikeda Shinsuke	4. 巻 21
2. 論文標題 Time discounting, present biases, and health-related behaviors: Evidence from Japan	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Economics & Human Biology	6. 最初と最後の頁 122 ~ 136
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ehb.2015.09.005	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Zhang Lin, Ikeda Shinsuke	4. 巻 63
2. 論文標題 Welfare-enhancing parental altruism and children's habit formation	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 International Review of Economics	6. 最初と最後の頁 281 ~ 303
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12232-016-0255-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsushima Noriaki	4. 巻 24
2. 論文標題 Expanding distribution channels	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Asia-Pacific Journal of Accounting & Economics	6. 最初と最後の頁 464 ~ 484
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/16081625.2016.1188453	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kitamura Hiroshi、Matsushima Noriaki、Sato Misato	4. 巻 151
2. 論文標題 Exclusive contracts and bargaining power	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Economics Letters	6. 最初と最後の頁 1 ~ 3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.econlet.2016.11.021	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsushima Noriaki、Yamazaki Takeshi	4. 巻 -
2. 論文標題 Heterogeneity and Number of Players in Rent-Seeking, Innovation, and Patent-Race Games	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Equilibrium Theory for Cournot Oligopolies and Related Games	6. 最初と最後の頁 281 ~ 294
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-3-319-29254-0_17	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kazumura Tomoya、Serizawa Shigehiro	4. 巻 47
2. 論文標題 Efficiency and strategy-proofness in object assignment problems with multi-demand preferences	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Social Choice and Welfare	6. 最初と最後の頁 633 ~ 663
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00355-016-0986-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ogawa Kazuo, Saito Mika, Tokutsu Ichiro	4. 巻 44
2. 論文標題 Did divine wind rescue Japan out of the lost decade?	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of the Japanese and International Economies	6. 最初と最後の頁 39 ~ 51
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jjie.2017.03.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yoshiro Tsutsui, Shoko Yamane, Fumio Ohtake	4. 巻 10
2. 論文標題 Why are cabinet supporters happy?	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Behavioral Economics and Finance	6. 最初と最後の頁 1-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11167/jbef.10.1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamamura Eiji, Tsutsui Yoshiro, Ohtake Fumio	4. 巻 67
2. 論文標題 Relative Income Position and Happiness: Are Cabinet Supporters Different from Others in Japan?	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 The Japanese Economic Review	6. 最初と最後の頁 383 ~ 402
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jere.12090	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Aoyagi Masaki, Bhalla Manaswini, Gunay Hikmet	4. 巻 165
2. 論文標題 Social learning and delay in a dynamic model of price competition	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Journal of Economic Theory	6. 最初と最後の頁 565 ~ 600
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jet.2016.05.005	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Shimizu Takashi、Ishida Junichiro	4. 巻 746
2. 論文標題 Cheap Talk with an Informed Receiver	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ISER Discussion Paper	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2139/ssrn.1424846	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石田潤一郎	4. 巻 58(5)
2. 論文標題 報酬格差と企業パフォーマンス	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 日本労働研究雑誌	6. 最初と最後の頁 4-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 TSUNEKI Atsushi	4. 巻 -
2. 論文標題 Some Observations on the Nation State(II) Its Institutions and Ideas (in Japanese: 「国民国家に関する覚書(II) その制度と理念」)	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 応報の行方 法哲学年報2015	6. 最初と最後の頁 193-210
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Duttle Kai、Inukai Keigo	4. 巻 18
2. 論文標題 Implications from Biased Probability Judgments for International Disparities in Momentum Returns	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Behavioral Finance	6. 最初と最後の頁 143 ~ 151
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/15427560.2017.1308937	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kameda Tatsuya, Inukai Keigo, Higuchi Satomi, Ogawa Akitoshi, Kim Hackjin, Matsuda Tetsuya, Sakagami Masamichi	4. 巻 113
2. 論文標題 Rawlsian maximin rule operates as a common cognitive anchor in distributive justice and risky decisions	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences	6. 最初と最後の頁 11817 ~ 11822
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1602641113	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Horita Yutaka, Takezawa Masanori, Inukai Keigo, Kita Toshimasa, Masuda Naoki	4. 巻 7
2. 論文標題 Reinforcement learning accounts for moody conditional cooperation behavior: experimental results	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep39275	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mishra Debasis, Pramanik Anup, Roy Souvik	4. 巻 100
2. 論文標題 Local incentive compatibility with transfers	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Games and Economic Behavior	6. 最初と最後の頁 149 ~ 165
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.geb.2016.09.009	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Pramanik Anup, Sen Arunava	4. 巻 47
2. 論文標題 Pairwise partition graphs and strategy-proof social choice in the exogenous indifference class model	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Social Choice and Welfare	6. 最初と最後の頁 1 ~ 24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00355-015-0944-x	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Murota Ryu-ichiro, Ono Yoshiyasu	4. 巻 51
2. 論文標題 Fiscal policy under deflationary gap and long-run stagnation: Reinterpretation of Keynesian multipliers	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Economic Modelling	6. 最初と最後の頁 596 ~ 603
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.econmod.2015.08.032	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ogawa Yoshitomo, Ono Yoshiyasu	4. 巻 91
2. 論文標題 Partial Replacement of Protective Tariffs by Production Subsidies and Welfare	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Economic Record	6. 最初と最後の頁 300 ~ 308
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1475-4932.12192	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Lahiri Sajal, Ono Yoshiyasu	4. 巻 69
2. 論文標題 Pollution, foreign direct investment, and welfare	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Research in Economics	6. 最初と最後の頁 238 ~ 247
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.rie.2015.03.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 小野 善康	4. 巻 -
2. 論文標題 長期不況の理論	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 第三章、現代経済学の潮流 2015	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ikeda Shinsuke, Kang Myong-Il	4. 巻 66
2. 論文標題 Hyperbolic Discounting, Borrowing Aversion and Debt Holding	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Japanese Economic Review	6. 最初と最後の頁 421 ~ 446
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jere.12072	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hirose K., Ikeda Shinsuke	4. 巻 50
2. 論文標題 Decreasing marginal impatience destabilizes multi-country economies	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Economic Modelling	6. 最初と最後の頁 237 ~ 244
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.econmod.2015.06.023	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hirose Ken-Ichi, Ikeda Shinsuke	4. 巻 66
2. 論文標題 Decreasing Marginal Impatience and Capital Accumulation in a Two-Country World Economy	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Metroeconomica	6. 最初と最後の頁 474 ~ 507
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/meca.12078	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ebina Takeshi, Matsushima Noriaki, Shimizu Daisuke	4. 巻 247
2. 論文標題 Product differentiation and entry timing in a continuous time spatial competition model	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 European Journal of Operational Research	6. 最初と最後の頁 904 ~ 913
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ejor.2015.06.049	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsumura Toshihiro、Matsushima Noriaki	4. 巻 24
2. 論文標題 Should Firms Employ Personalized Pricing?	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Journal of Economics & Management Strategy	6. 最初と最後の頁 887 ~ 903
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jems.12109	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ogawa Kazuo	4. 巻 -
2. 論文標題 What do Cash Holdings Tell us About Bank-Firm Relationships? A Case Study of Japanese Firms	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 The Economics of Interfirm Networks	6. 最初と最後の頁 215 ~ 235
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-4-431-55390-8_11	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川一夫、関田静香	4. 巻 51(1)
2. 論文標題 年金制度改正と老後不安：家計のマイクロデータによる分析	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 季刊社会保障研究	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ogawa Kazuo	4. 巻 38
2. 論文標題 Firm investment, liquidity and bank health: A panel study of Asian firms in the 2000s	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Journal of Asian Economics	6. 最初と最後の頁 44 ~ 54
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.asieco.2015.03.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tanaka Saori C., Yamada Katsunori, Kitada Ryo, Tanaka Satoshi, Sugawara Sho K., Ohtake Fumio, Sadato Norihiro	4. 巻 6
2. 論文標題 Overstatement in happiness reporting with ordinal, bounded scale	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep21321	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Okudaira Hiroko, Kinari Yusuke, Mizutani Noriko, Ohtake Fumio, Kawaguchi Akira	4. 巻 82
2. 論文標題 Older sisters and younger brothers: The impact of siblings on preference for competition	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Personality and Individual Differences	6. 最初と最後の頁 81 ~ 89
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.paid.2015.02.037	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 大竹文雄・明坂弥香・齊藤誠	4. 巻 14
2. 論文標題 東日本大震災が日本人の経済的選好に与えた影響	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 震災と経済	6. 最初と最後の頁 247-280
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Chen Chia-Hui, Ishida Junichiro	4. 巻 120
2. 論文標題 Careerist experts and political incorrectness	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Journal of Economic Behavior & Organization	6. 最初と最後の頁 1 ~ 18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jebo.2015.09.023	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石田潤一郎	4. 巻 28(2)
2. 論文標題 自己認知とインセンティブ設計：行動経済学の視点から	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 産業・組織心理学研究	6. 最初と最後の頁 89-101
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tsuneki Atsushi, Zasu Yoshinobu	4. 巻 11
2. 論文標題 On the Complementarity between Law and Social Norms	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Review of Law & Economics	6. 最初と最後の頁 503 ~ 512
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1515/rle-2013-0002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tatsuya Kameda, Keigo Inukai, Thomas Wisdom and Wataru Toyokawa	4. 巻 -
2. 論文標題 The Concept of Herd Behavior: Its Psychological and Neural Underpinnings	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 in Contract Governance	6. 最初と最後の頁 61 ~ 71
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kai Duttler and Keigo Inukai	4. 巻 35(2)
2. 論文標題 Complexity Aversion: Influences of Cognitive Abilities, Culture and System of Thought	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Economics Bulletin	6. 最初と最後の頁 846 ~ 855
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

[学会発表] 計210件(うち招待講演 39件/うち国際学会 107件)

1. 発表者名 青柳真樹
2. 発表標題 Designing a Platform for Agents with a Preference Network
3. 学会等名 Oxford-Osaka Economic Theory Workshop (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石田潤一郎
2. 発表標題 An Entry Game with Learning and Market Competition
3. 学会等名 Oxford-Osaka Economic Theory Workshop (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松島 法明
2. 発表標題 垂直取引関係が存在する下での川上企業による直接販路開設について
3. 学会等名 CPRC DP最終報告ワークショップ
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 芹澤成弘
2. 発表標題 Strategy-proof multi-object mechanism design: ex post revenue maximization with non-quasilinear preferences
3. 学会等名 Conference in Honor of John Weymark (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石田潤一郎
2. 発表標題 Rewarding Mediocrity? Optimal Regulation of R&D Markets with Reputation Concerns
3. 学会等名 Osaka Workshop of the Economics of Institution and Organization
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松島 法明
2. 発表標題 Exclusive Contracts in Durable Goods Markets
3. 学会等名 OSIPP ランチセミナー
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 朱 連明
2. 発表標題 Does Foreign Direct Investment Lead to Industrial Agglomeration?
3. 学会等名 2nd China-Japan Youth Conference on Trade, Exchange Rate and Labor (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松島 法明
2. 発表標題 Competitive Personalized Pricing and Its Further Extensions
3. 学会等名 東京理科大学 ゲーム理論セミナー
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松島 法明
2. 発表標題 Exclusive Contracts in Durable Goods Markets
3. 学会等名 契約理論研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 堀井 亮
2. 発表標題 環境と経済成長の持続可能性
3. 学会等名 Workshop hosted by General Council Chairperson
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 舛田武仁
2. 発表標題 Strategic Ambiguity and Probabilistic Sophistication
3. 学会等名 早稲田大学商学部リスク勉強会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 舛田武仁
2. 発表標題 A strategy-proof mechanism should be announced to be strategy-proof: An experiment for the Vickrey auction
3. 学会等名 International Workshop on Experimental Economics (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 堀井 亮
2. 発表標題 Comment on “Dynamic Model under Positive Labour Utility and Time Constraints”
3. 学会等名 日本經濟学会2019年度春季大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 芹澤成弘
2. 発表標題 Minimum Price Equilibrium in the Assignment Market
3. 学会等名 2019 Conference on Economic Design (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 敦賀 貴之
2. 発表標題 Money-financed Fiscal Stimulus: The Effects of Implementation Lag
3. 学会等名 Asian Meeting of Econometric Society (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松島 法明
2. 発表標題 Organizational structure and technological investment
3. 学会等名 日本応用經濟学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 堀井 亮
2. 発表標題 A Multi-factor Uzawa Growth Theorem and Endogenous Capital-Augmenting Technological Change
3. 学会等名 Society for Economic Dynamics 2019 Meeting (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 芹澤成弘
2. 発表標題 Minimum Price Equilibrium in the Assignment Market
3. 学会等名 The 19th Annual SAET Conference (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 舛田武仁
2. 発表標題 Strategic Ambiguity and Probabilistic Sophistication
3. 学会等名 ISER-RISS Experimental Economics Workshop
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 敦賀 貴之
2. 発表標題 Behavioral law of one price deviations? A simple test based on analysis of variance
3. 学会等名 Summer Workshop on Economic Theory
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 舛田武仁
2. 発表標題 Strategic Ambiguity and Probabilistic Sophistication
3. 学会等名 フューチャーデザイン研究所セミナー
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松島 法明
2. 発表標題 Exclusive Contracts in Durable Goods Markets
3. 学会等名 46th EARIE (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 舛田武仁
2. 発表標題 Strategic Ambiguity and Probabilistic Sophistication
3. 学会等名 2019 European Economic Science Association Meeting (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松島 法明
2. 発表標題 Exclusive Contracts in Durable Goods Markets
3. 学会等名 Jornadas de Economia Industrial 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 堀井 亮
2. 発表標題 技術進歩と経済成長
3. 学会等名 「包括的な金融・財政政策のリスクマネジメント：理論・実証・シミュレーション」研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 舛田武仁
2. 発表標題 Strategic Ambiguity and Probabilistic Sophistication
3. 学会等名 LESSAC seminar (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 青柳真樹
2. 発表標題 Matching Platforms
3. 学会等名 Universite Clermont Auvergne開発経済学セミナー (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 舛田武仁
2. 発表標題 Strategic Ambiguity and Probabilistic Sophistication
3. 学会等名 Erasmus School of Economics seminar (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 芹澤成弘
2. 発表標題 Minimum Price Equilibrium in the Assignment Market
3. 学会等名 2019 NANJING INTERNATIONAL CONFERENCE ON GAME THEORY & THE SIXTH MICROECONOMICS WORKSHOP (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小野 善康
2. 発表標題 "Long-run Stagnation in Japan: Theory and Policy"
3. 学会等名 ISER-CPB Joint Workshop: Secular Stagnation in Japan and Europe (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 朱 連明
2. 発表標題 Discussant on "Tariffs, Vertical Oligopoly and Market Structure: Empirical Investigation"
3. 学会等名 日本国際経済学会 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 舛田武仁
2. 発表標題 Strategic Ambiguity and Probabilistic Sophistication
3. 学会等名 Economic Science Association North American Meeting 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 朱 連明
2. 発表標題 Discussant on "Do enterprise zones promote local business development? Evidence from Vietnam"
3. 学会等名 日本經濟学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 舛田武仁
2. 発表標題 Strategic Ambiguity and Probabilistic Sophistication
3. 学会等名 ISER Lunch Time Seminar
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 芹澤成弘
2. 発表標題 Minimum Price Equilibrium in the Assignment Market
3. 学会等名 MICROECONOMICS SEMINAR (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 青柳真樹
2. 発表標題 Matching Platforms
3. 学会等名 University of Hong Kong理論經濟学セミナー (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 芹澤成弘
2. 発表標題 Minimum Price Equilibrium in the Assignment Market
3. 学会等名 III SPAIN-JAPAN MEETING ON ECONOMIC THEORY (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 青柳真樹
2. 発表標題 Matching Platforms
3. 学会等名 Singapore Management University理論経済学セミナー (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石田潤一郎
2. 発表標題 Reputation Concerns in Risky Experimentation
3. 学会等名 III Spain-Osaka Workshop on Economic Theory (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松島 法明
2. 発表標題 Naked Exclusion under Exclusive-offer Competition: Experiment
3. 学会等名 III Spain-Japan Meeting on Economic Theory (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松島 法明
2. 発表標題 Competition between international connecting flights and the role of airport landing fees
3. 学会等名 KEBA 2019 Fall International Conference (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 堀井 亮
2. 発表標題 A Generalized Uzawa Theorem and Capital-Augmenting Technological Change
3. 学会等名 2019 マクロカンファレンス
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 芹澤成弘
2. 発表標題 Strategy-proof multi-object mechanism design: ex post revenue maximization with non-quasilinear preferences
3. 学会等名 Economic Seminar (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松島 法明
2. 発表標題 Naked Exclusion under Exclusive-offer Competition: Experiment
3. 学会等名 7th Joint Economic Workshop between Chulalongkorn University and GSE/ISER of Osaka University (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 舛田武仁
2. 発表標題 Strategic Ambiguity and Probabilistic Sophistication
3. 学会等名 実験社会科学カンファレンス(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松島 法明
2. 発表標題 Naked Exclusion under Exclusive-offer Competition: Experiment
3. 学会等名 International Workshop on Experimental Economics
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 敦賀 貴之
2. 発表標題 A Behavioral Explanation for the Puzzling Persistence of the Aggregate Real Exchange Rate
3. 学会等名 Vanderbilt University Economics Seminar(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 青柳真樹
2. 発表標題 Matching Platforms
3. 学会等名 慶応義塾大学理論経済学セミナー
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 朱 連明
2. 発表標題 Foreign Direct Investment and Industrial Agglomeration
3. 学会等名 Workshop on Trade and FDI
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 敦賀 貴之
2. 発表標題 A Behavioral Explanation for the Puzzling Persistence of the Aggregate Real Exchange Rate
3. 学会等名 マクロ経済学ワークショップ
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 舛田 武仁
2. 発表標題 Strategic Ambiguity and Probabilistic Sophistication
3. 学会等名 K-CONNEX研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 敦賀 貴之
2. 発表標題 A Behavioral Explanation for the Puzzling Persistence of the Aggregate Real Exchange Rate
3. 学会等名 CAPSセミナー
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 松島 法明
2. 発表標題 How does personalized pricing work in competitive environments?
3. 学会等名 5th Belgian-Japanese Workshop (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 松島 法明
2. 発表標題 How does personalized pricing work in competitive environments?
3. 学会等名 5th Belgian-Japanese Workshop (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 石田潤一郎
2. 発表標題 Reputation Concerns in Risky Experimentation
3. 学会等名 Department Seminar (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 松島 法明
2. 発表標題 Behavior-based personalized pricing:When firms can share customer information
3. 学会等名 日本応用経済学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 敦賀 貴之
2. 発表標題 A Behavioral Explanation for the Puzzling Persistence of the Aggregate Real Exchange Rate
3. 学会等名 Summer Workshop on Economic Theory
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 石田潤一郎
2. 発表標題 An Entry Game with Learning and Market Competition
3. 学会等名 Labor-10 Seminar
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 松島 法明
2. 発表標題 Organizational structure and technological investment
3. 学会等名 日本經濟学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 敦賀 貴之
2. 発表標題 A Behavioral Explanation for the Puzzling Persistence of the Aggregate Real Exchange Rate
3. 学会等名 Economics Seminar (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 松島 法明
2. 発表標題 Data-Driven Mergers and Personalization
3. 学会等名 IV Spain-Japan Meeting on Economic Theory (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 堀井 亮
2. 発表標題 A Generalized Uzawa Theorem and Capital-Augmenting Technological Change
3. 学会等名 SURED 2020 - Monte Verit? Conference on Sustainable Resource Use and Economic Dynamics (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 石田潤一郎
2. 発表標題 Signaling under Double-Crossing Preferences
3. 学会等名 Microeconomics Seminar
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 青柳真樹
2. 発表標題 A Redistribution Mechanism in Asymmetric Coordination Games
3. 学会等名 Virtual East Asia Experimental and Behavioral Economics Seminar Series (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 敦賀 貴之
2. 発表標題 Decomposing Local Fiscal Multipliers: Evidence from Japan
3. 学会等名 日本大学大学院経済学研究科特別講義
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 石田潤一郎
2. 発表標題 Signaling under Double-Crossing Preferences
3. 学会等名 Microeconomics Seminar
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 敦賀 貴之
2. 発表標題 Modeling micro price dynamics in macroeconomics
3. 学会等名 中国人民大学セミナー（国際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 松島 法明
2. 発表標題 Behavior-based personalized pricing:When firms can share customer information
3. 学会等名 応用地域学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 堀井 亮
2. 発表標題 A Generalized Uzawa Theorem and Capital-Augmenting Technological Change
3. 学会等名 東北大学現代経済学研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 敦賀 貴之
2. 発表標題 A Behavioral Explanation for the Puzzling Persistence of the Aggregate Real Exchange Rate
3. 学会等名 Winter Meeting of the Econometric Society (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 敦賀 貴之
2. 発表標題 A Behavioral Explanation for the Puzzling Persistence of the Aggregate Real Exchange Rate
3. 学会等名 経済学セミナー
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 松島 法明
2. 発表標題 Data-Driven Mergers and Personalization
3. 学会等名 南山マーケティング論・産業組織論・ビジネス経済学 ワークショップ
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 松島 法明
2. 発表標題 デジタルプラットフォーム市場の競争構造と今後の展開
3. 学会等名 電子情報通信学会 2021年総合大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 松島 法明
2. 発表標題 A Manufacturer's incentive to Open Its Direct Channel and Its Impact on Welfare
3. 学会等名 RISS Seminar Series
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 芹澤 成弘
2. 発表標題 Minimum price Walrasian equilibrium for general preferences: Serial Vickrey mechanisms
3. 学会等名 International Conference on Public Economic Theory 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 堀井 亮
2. 発表標題 Multi-factor Uzawa Growth Theorem and Endogenous Capital-Augmenting Technological Change
3. 学会等名 Tongji SEM 与金融系学会 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 舛田 武仁
2. 発表標題 Testing Ambiguity Attitudes toward Strategic Decisions
3. 学会等名 Society for the Advancement of Economic Theory (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 青柳 真樹
2. 発表標題 Designing a Platform when Preferences over Trading Partners are Uncertain
3. 学会等名 Society for the Advancement of Economic Theory (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 敦賀 貴之
2. 発表標題 ヘリコプターマネーと財政政策の実施ラグ
3. 学会等名 滋賀大学リスク研究センター・セミナー
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 芹澤 成弘
2. 発表標題 Strategy-proof multi-object allocation: Ex-post revenue maximization with no wastage
3. 学会等名 The 14th Meeting of the Society for Social Choice and Welfare (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 敦賀 貴之
2. 発表標題 Decomposing Local Fiscal Multipliers: Evidence from Japan
3. 学会等名 Asian Meeting of Econometric Society (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 芹澤 成弘
2. 発表標題 Strategy-proof multi-object allocation: Ex-post revenue maximization with no wastage
3. 学会等名 North American Summer Meeting of the Econometric Society 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松島 法明
2. 発表標題 A Manufacturer's incentive to Open Its Direct Channel and Its Impact on Welfare
3. 学会等名 日本応用経済学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松島 法明
2. 発表標題 垂直取引関係の経済分析
3. 学会等名 日本応用経済学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 敦賀 貴之
2. 発表標題 Decomposing Local Fiscal Multipliers: Evidence from Japan
3. 学会等名 Workshop on International Trade and Urban Economics 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 敦賀 貴之
2. 発表標題 Current Account Dynamics under Information Rigidity and Imperfect Capital Mobility
3. 学会等名 Econometric Society Australasian Meeting (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 舛田 武仁
2. 発表標題 Higher order risk attitudes and prevention under different timings of loss : A laboratory experiment
3. 学会等名 CEE and RISS Seminar Series on Experimental Economics (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 芹澤 成弘
2. 発表標題 Strategy-Proof MultiObject Allocation: Ex-post Revenue Maximization with No Wastage
3. 学会等名 International Conference on Economic Theory and Applications (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 芹澤 成弘
2. 発表標題 Strategy-Proof Multi-Object Mechanism Design: Ex-Post Revenue Maximization with Non-Quasilinear Preferences
3. 学会等名 HSI2018 4th Hitotsubashi Summer Institute (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 敦賀 貴之
2. 発表標題 Money-financed Fiscal Stimulus: The Effects of Implementation Lag
3. 学会等名 Sapporo Summer Workshop on Monetary and Financial Economics
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松島 法明
2. 発表標題 Supplier encroachment and retailer effort
3. 学会等名 33rd Jornadas de Economia Industrial (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 芹澤 成弘
2. 発表標題 Strategy-Proof Multi-Object Allocation: Ex-post Revenue Maximization with No Wastage
3. 学会等名 Market Design Seminar (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 芹澤 成弘
2. 発表標題 Strategy-proof multi-object mechanism design: ex post revenue maximization with non-quasilinear preferences
3. 学会等名 WORKSHOP ON INFORMATION AND INCENTIVES (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松島 法明
2. 発表標題 Competitive Personalized Pricing
3. 学会等名 日本応用経済学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 朱 連明
2. 発表標題 Does Foreign Direct Investment Lead to Industrial Agglomeration?
3. 学会等名 16th International Convention of the East Asian Economic Association (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 敦賀 貴之
2. 発表標題 Money-financed Fiscal Stimulus: The Effects of Implementation Lag
3. 学会等名 Midwest Macro Meetings 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 朱 連明
2. 発表標題 Does Foreign Direct Investment Lead to Industrial Agglomeration?
3. 学会等名 ミクロ経済学ワークショップ
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 敦賀 貴之
2. 発表標題 Money-financed Fiscal Stimulus: The Effects of Implementation Lag
3. 学会等名 Asian Economic Outlook and Challenges to Growth and Stability (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松島 法明
2. 発表標題 Competitive Personalized Pricing
3. 学会等名 応用地域学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 朱 連明
2. 発表標題 Does Foreign Direct Investment Lead to Industrial Agglomeration?
3. 学会等名 Workshop on Trade and FDI (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小野 善康
2. 発表標題 Macroeconomics Workshop 『産業構造と雇用・景気の動学的分析』
3. 学会等名 Wealth preference and inequalities
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 堀井 亮
2. 発表標題 OSIPP Brown Bag Seminar
3. 学会等名 A Multi-factor Uzawa Growth Theorem and Endogenous Capital-Augmenting Technological Change
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 敦賀 貴之
2. 発表標題 京都大学マクロ経済学研究会
3. 学会等名 Money-financed Fiscal Stimulus: The Effects of Implementation Lag (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松島法明
2. 発表標題 早稲田 ゲーム理論・実験経済学セミナー
3. 学会等名 Organizational structure and technological investment
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 敦賀 貴之
2. 発表標題 東京大学先端研マクロ経済分析研究会
3. 学会等名 Money-financed Fiscal Stimulus: The Effects of Implementation Lag (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 朱 連明
2. 発表標題 China-Japan Workshop on International Economics
3. 学会等名 Does Foreign Direct Investment Lead to Industrial Agglomeration? (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 堀井 亮
2. 発表標題 AMSE Macro Seminar
3. 学会等名 A Multi-factor Uzawa Growth Theorem and Endogenous Capital-Augmenting Technological Change
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 池田 新介
2. 発表標題 Tempting goods, self-control fatigue, and time preference in consumer dynamics
3. 学会等名 The 18th Society of Advancement in Economic Theory Conference (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田 新介
2. 発表標題 Tempting goods, self-control fatigue, and time preference in consumer dynamics
3. 学会等名 神戸大学六甲マクロセミナー
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田 新介
2. 発表標題 Limited cognitive ability and time preferences: Two survey experiments
3. 学会等名 慶應義塾大学応用経済学セミナー
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ryo Horii
2. 発表標題 A Multi-factor Uzawa Growth Theorem and Endogenous Capital-Augmenting Technological Change
3. 学会等名 The WINPEC Seminar (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takehito Masuda
2. 発表標題 Cooperation among Behaviorally Heterogeneous Players in a Social Dilemma with Stay or Leave Decisions
3. 学会等名 NYUAD -APET At the Forefront of Public Economics Conference (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ryo Horii
2. 発表標題 A Multi-factor Uzawa Growth Theorem and Endogenous Capital-Augmenting Technological Change
3. 学会等名 International Conference on Trade, Financial Integration and Economic Growth 2017
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ryo Horii
2. 発表標題 A Multi-factor Uzawa Growth Theorem and Endogenous Capital-Augmenting Technological Change
3. 学会等名 Policy Modelling Workshop
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ryo Horii
2. 発表標題 A Multi-factor Uzawa Growth Theorem and Endogenous Capital-Augmenting Technological Change
3. 学会等名 5th Joint Economic Workshop in Economics Between Faculty of Economics (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 犬飼佳吾
2. 発表標題 実験から読み解くヒトと人の社会
3. 学会等名 行動経済学会 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松島法明
2. 発表標題 Demand Uncertainty, Product Differentiation, and Entry Timing under Spatial Competition
3. 学会等名 応用地域学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Masaki Aoyagi
2. 発表標題 Designing a Platform when Preferences over Trading Partners are Unknown
3. 学会等名 Economic Theory Seminar (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shigehiro Serizawa
2. 発表標題 Multi-Object Auction Design: Revenue Maximization with No Wastage
3. 学会等名 2017 Nanjing International Conference on Game Theory & the Fourth Microeconomics Workshop (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松島法明
2. 発表標題 Competitive Personalized Pricing with Sophisticated Consumers
3. 学会等名 産業組織・競争政策研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松島法明
2. 発表標題 Supplier Encroachment and Retailer Effort
3. 学会等名 制度と組織の研究会(OEIO)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 敦賀貴之,
2. 発表標題 Decomposing Local Fiscal Multipliers: Evidence from Japan
3. 学会等名 第19回マクロコンファレンス
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Masaki Aoyagi
2. 発表標題 The Impact of Monitoring in Infinitely Repeated Games: Perfect, Public and Private
3. 学会等名 SURE International Workshop: Experimental and Behavioral Economics (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takehito Masuda
2. 発表標題 Higher Order Risk Attitudes and Preventive Choices under Different Timings of Loss Events: A Laboratory Experiment
3. 学会等名 International Workshop: Experimental and Behavioral Economics (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松島法明
2. 発表標題 Competitive Personalized Pricing with Sophisticated Consumers
3. 学会等名 信州大学経法学部スタッフセミナー
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shigehiro Serizawa
2. 発表標題 Multi-Object Auction Design: Revenue Maximization with No Wastage
3. 学会等名 Microeconomic Seminar (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yu Zhou
2. 発表標題 Serial Vickrey Algorithm
3. 学会等名 International Conference on Game Theory and the Fourth Microeconomics Workshop (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松島法明
2. 発表標題 Supplier Encroachment and Retailer Effort
3. 学会等名 日本応用経済学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shigehiro Serizawa
2. 発表標題 Multi-Object Auction Design: Revenue Maximization with Equal Treatment of Equals and No Wastage
3. 学会等名 Spain-Japan Meeting on Economic Theory (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takehito Masuda
2. 発表標題 Higher Order Risk Attitudes and Preventive Choices under Different Timings of Loss Events: A Laboratory Experiment
3. 学会等名 Cross-discipline Experimental Readings Group (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yu Zhou
2. 発表標題 Serial Vickrey Algorithm
3. 学会等名 Spain-Japan Meeting on Economic Theory (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松島法明
2. 発表標題 Naked Exclusion under Exclusive-offer Competition
3. 学会等名 応用経済学ワークショップ
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松島法明
2. 発表標題 Naked Exclusion under Exclusive-offer Competition
3. 学会等名 2nd Jornadas de Economía Industrial (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Fumio Ohtake
2. 発表標題 Relative Income, Relative Consciousness, and Happiness
3. 学会等名 International Conference on Work and Happiness (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Fumio Ohtake
2. 発表標題 Peer Effects on Labor Supply
3. 学会等名 International Conference on Work and Happiness (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shigehiro Serizawa
2. 発表標題 Minimum price Walrasian equilibrium for general preferences: Serial Vickrey algorithms
3. 学会等名 2017 European Meeting of the Econometric Society (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 敦賀貴之
2. 発表標題 Decomposing Local Fiscal Multipliers: Evidence from Japan
3. 学会等名 ESRI International Conference (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 舛田武仁
2. 発表標題 高次リスク態度と予防的行動
3. 学会等名 第4回K-CONNEX研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shigehiro Serizawa
2. 発表標題 Multi-object auction design: revenue maximization with no wastage
3. 学会等名 18th Meeting of the Association for Public Economic Theory (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takehito Masuda
2. 発表標題 Who is audited? Experimental Study on Rule-Based Tax Auditing Schemes
3. 学会等名 2017 ESA World Meeting (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松島法明
2. 発表標題 Strategic Perils of Outsourcing: Sourcing Strategy and Product Positioning
3. 学会等名 日本応用経済学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shigehiro Serizawa
2. 発表標題 Multi-Object Auction Design: Revenue Maximization with No Wastage
3. 学会等名 2017 Conference on Economic Design (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松島法明
2. 発表標題 Pricing with Cookies: Behavior-Based Price Discrimination and Spatial Competition
3. 学会等名 産業組織・競争政策研究会,
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takayuki Tsuruga
2. 発表標題 Current Account Dynamics under Information Rigidity and Imperfect Capital Mobility
3. 学会等名 Asian Meeting of Econometric Society (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yu Zhou
2. 発表標題 Serial Vickrey Algorithm
3. 学会等名 Society for Economic Design (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小野善康
2. 発表標題 成熟社会の経済と処方箋
3. 学会等名 岡山大学経済学会大講演会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 敦賀貴之
2. 発表標題 Current Account Dynamics under Information Rigidity and Imperfect Capital Mobility
3. 学会等名 ESRI セミナー
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小野善康
2. 発表標題 Wealth Preference and Secular Stagnation: An Overview
3. 学会等名 One-day Conference on Secular Stagnation and Wealth Preference (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shigehiro Serizawa
2. 発表標題 Minimum price Walrasian equilibrium for general preferences: Serial Vickrey algorithms
3. 学会等名 13th European Meeting on Game Theory (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小野善康
2. 発表標題 Macroeconomic interdependence between a stagnant and a fully employed country
3. 学会等名 一橋経済学セミナー (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 小野善康
2. 発表標題 Growth, Stagnation and Wealth Preference
3. 学会等名 京都大学経済研究所セミナー (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Yoshiyasu Ono
2. 発表標題 Growth, Secular Stagnation and Wealth Preference
3. 学会等名 MOMA NETWORK (Markets, Organizations, Mechanisms, and Agents), III Meeting-Workshop (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ikeda, Shinsuke and Takeshi Ojima
2. 発表標題 Temptation, self-control fatigue, and time preference in consumer dynamics
3. 学会等名 MOMA NETWORK (Markets, Organizations, Mechanisms, and Agents), III Meeting-Workshop (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 池田新介
2. 発表標題 情動的な選択とセルフ・コントロール
3. 学会等名 NTT応用脳科学アカデミーアドバンスコース「マーケティング」(招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 池田新介
2. 発表標題 なぜセルフ・コントロール(自制)か!?
3. 学会等名 リーガクラブ講演(招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 池田新介
2. 発表標題 誘惑と自制のあいだ
3. 学会等名 シニア自然大学公開講演会(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shigehiro Serizawa
2. 発表標題 Efficiency and strategy-proofness in object assignment problems with multi-demand preferences
3. 学会等名 13th International Meeting of Social Choice and Welfare (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Shigehiro Serizawa
2. 発表標題 Efficiency and strategy-proofness in object assignment problems with multi demand preferences
3. 学会等名 GAMES 2016 - Fifth World Congress of the Game Theory Society, 34
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Shigehiro Serizawa
2. 発表標題 When are strategy-proof and efficient rules possible in objects allocation with money?
3. 学会等名 2016 Asia Meeting of the Econometric Society (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Shigehiro Serizawa
2. 発表標題 Efficiency and strategy-proofness in object assignment problems with multi demand preferences
3. 学会等名 2016 European Meeting of the the Econometric Society (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Shigehiro Serizawa
2. 発表標題 Strategy-Proofness and Efficiency for Non-quasilinear Common-Tiered-Object Preferences: Characterization of Minimum Price Rule
3. 学会等名 III MOMA Group Meeting (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Shigehiro Serizawa
2. 発表標題 Strategy-Proofness and Efficiency for Non-Quasi-linear and Common-Tiered-Object Preferences: Characterization of Minimum Price Rule.
3. 学会等名 SMU WORKSHOP ON MECHANISM DESIGN (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Shigehiro Serizawa
2. 発表標題 Equal Treatment of Equals and Strategy-proofness in Object Allocation with Non-quasi-linear Preferences
3. 学会等名 Advances in Mechanism Design (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 小川一夫
2. 発表標題 稲作における生産の効率性と田の耕地利用に関する研究：米生産費統計のパネルデータによる 実証分析
3. 学会等名 RIETI セミナー (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 小川一夫
2. 発表標題 International R&D Spillovers and Marginal Social Returns on R&D
3. 学会等名 日本経済学会春季大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 小川一夫
2. 発表標題 関西企業のポテンシャル：イノベーションと人材活用
3. 学会等名 関西生産性本部講演（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Kazuo Ogawa
2. 発表標題 Inefficiency in Rice Production and Land Use: A Panel Study of Japanese Rice Farmers
3. 学会等名 Hitotsubashi-RIETI international workshop（国際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 大竹文雄
2. 発表標題 寺院・地蔵・神社とソーシャル・キャピタルおよび所得・幸福度への影響
3. 学会等名 行動経済学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Masaki Aoyagi
2. 発表標題 Social Learning and Delay in a Dynamic Model of Price Competition
3. 学会等名 Economics Seminar (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Masaki Aoyagi
2. 発表標題 Bertrand Competition under Network Externalities
3. 学会等名 2016 International Conference on Innovation and Industrial Economics (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Masaki Aoyagi
2. 発表標題 Bertrand Competition under Network Externalities
3. 学会等名 Recent Advances in Microeconomics (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Junichiro Ishida
2. 発表標題 Rewarding Mediocrity? Optimal Regulation of R&D Markets with Reputation Concerns
3. 学会等名 OEIO Summer Conference
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 菊地信義
2. 発表標題 Marginal returns to schooling and education policy change in Japan
3. 学会等名 「人材配置の経済学」研究会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Nobuyoshi Kikuchi
2. 発表標題 Marginal returns to schooling and education policy change in Japan
3. 学会等名 The 4th Joint Workshop between Chulalongkorn University and Osaka University (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Anup Pramanik
2. 発表標題 Local Incentive Compatibility with Transfers
3. 学会等名 The 13th meeting of society for social choice and welfare (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Chris Mitchell
2. 発表標題 The Liquidity Coverage Ratio, Mortgage-Backed Securities, and Mortgage-Market Instability.
3. 学会等名 Third Annual CIGS End of Year Macroeconomics Conference (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Yoshiyasu Ono
2. 発表標題 Growth, Stagnation and Wealth Preference
3. 学会等名 Osaka Conference on Growth, Stagnation and Macroeconomic Fluctuations (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Yoshiyasu Ono
2. 発表標題 Growth, Stagnation and Wealth Preference
3. 学会等名 六甲フォーラム (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 小野善康
2. 発表標題 2つの政権：政策と経済の動き
3. 学会等名 国民経済計算研究会 (招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Yoshiyasu Ono
2. 発表標題 A Theory of Secular Stagnation
3. 学会等名 Norges Bank Research Seminar (招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Yoshiyasu Ono
2. 発表標題 Short-run Stagnation VS. Long-run Stagnation
3. 学会等名 Fifth Graz Schumpeter Summer School (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Yoshiyasu Ono
2. 発表標題 Long-run Stagnation, Zero Interest Rate and Status Preference
3. 学会等名 Fifth Graz Schumpeter Summer School (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Yoshiyasu Ono
2. 発表標題 Transition from High-growth Economy to Long-run Stagnation
3. 学会等名 Fifth Graz Schumpeter Summer School (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Shinsuke Ikeda
2. 発表標題 Willpower, Time Preference, and Consumer Dynamics
3. 学会等名 Osaka Conference on Growth, Stagnation and Macroeconomic Fluctuations (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Shinsuke Ikeda
2. 発表標題 Self-control, Hyperbolic Discounting, and Diabetes
3. 学会等名 行動経済学・行動ファイナンスのフロンティア
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Shigehiro Serizawa
2. 発表標題 Efficiency and Strategy-proofness in Object Assignment Problems with Multi-demand Preferences
3. 学会等名 Singapore Management University, School of Economics Seminar (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Shigehiro Serizawa
2. 発表標題 When are Strategy-proof and Efficient Rules Possible in Object Allocation with Money?
3. 学会等名 UC Barkley Microeconomic Theory Seminar (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Shigehiro Serizawa
2. 発表標題 Efficiency and Strategy-proofness in Object Assignment Problems with Multi Demand Preferences
3. 学会等名 南京大学経済学部セミナー (招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Shigehiro Serizawa
2. 発表標題 Efficiency and Strategy-proofness in Object Assignment Problems with Multi Demand Preferences
3. 学会等名 上海财经大学経済学部セミナー（招待講演）
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Shigehiro Serizawa
2. 発表標題 Efficiency and Strategy-Proofness in Object Assignment Problems with Multi Demand Preferences
3. 学会等名 2015 SSK International Conference on Distributive Justice（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Shigehiro Serizawa
2. 発表標題 When are Strategy-Proof And Efficient Rules Possible in Objects Allocation With Money?
3. 学会等名 Conference on Economic Deasign 2015（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Shigehiro Serizawa
2. 発表標題 When are Strategy proof and Efficient Rules Possible in Objects Allocation with Money?
3. 学会等名 IDGP 2015 Workshop, "Institutions, Decisions and Governmental Practices: Theory, Simulations and Applications" （招待講演）
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Noriaki Matsushima
2. 発表標題 Strategic Dual Sourcing as a Driver for Free Revealing of Innovation
3. 学会等名 日本経済学会・秋季大会（招待講演）
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Noriaki Matsushima
2. 発表標題 Supplier Encroachment and Retailer R&D
3. 学会等名 現代経済セミナー
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Noriaki Matsushima
2. 発表標題 Pricing with Cookies
3. 学会等名 契約理論研究会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Noriaki Matsushima
2. 発表標題 Expanding Distribution Channels: Application to Agricultural Products
3. 学会等名 産業組織・競争政策研究会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Noriaki Matsushima
2. 発表標題 Strategic Dual Sourcing as a Driver for Free Revealing of Innovation
3. 学会等名 42nd European Association for Research in Industrial Economics (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Noriaki Matsushima
2. 発表標題 Expanding Distribution Channels: Application to Agricultural Products
3. 学会等名 University of Tokyo and National Taiwan University IO Workshops Joint Summer Conference
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Kazuo Ogawa
2. 発表標題 International R&D Spillovers and Marginal Social Returns on R&D
3. 学会等名 広島大学セミナー
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Kazuo Ogawa
2. 発表標題 International R&D Spillovers and Marginal Social Returns on R&D
3. 学会等名 Workshop on R&D, Technology and Productivity
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Fumio Ohtake
2. 発表標題 The Hidden Curriculum and Social Preferences
3. 学会等名 公共選択学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Fumio Ohtake
2. 発表標題 Preferences for Income and Consumption Taxes: An Experimental Study
3. 学会等名 Research Workshop Faculty of Economics, Chulalongkorn University Joint with Graduate School of Economics, and Institute of Social and Economic Research, Osaka University
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 大竹文雄
2. 発表標題 芥川賞・直木賞受賞が余命に与える影響：社会的地位の余命効果に関する自然実験
3. 学会等名 行動経済学会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 大竹文雄
2. 発表標題 健康行動の経済学
3. 学会等名 日本循環器病予防学会（招待講演）
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Junichiro Ishida
2. 発表標題 Hierarchical Experimentatoin
3. 学会等名 Research Workshop Faculty of Economics, Chulalongkorn University Joint with Graduate School of Economics, and Institute of Social and Economic Research, Osaka University
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Junichiro Ishida
2. 発表標題 Hierarchical Experimentatoin
3. 学会等名 OEIO Summer Conference
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Junichiro Ishida
2. 発表標題 Hierarchical Experimentatoin
3. 学会等名 ミクロ経済学ワークショップ
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Ryo Horii
2. 発表標題 The Dynamics of US-Japan Current Account Imbalance
3. 学会等名 Abe Fellowship Retreat 2016 (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Keigo Inukai
2. 発表標題 The Power of Framing Effect and Learning Mechanisms of Experimental Game
3. 学会等名 Research Workshop Faculty of Economics, Chulalongkorn University Joint with Graduate School of Economics, and Institute of Social and Economic Research, Osaka University
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 犬飼 佳吾
2. 発表標題 コンピュータネットワークを利用した集団実験のノウハウ Webベース実験事始め
3. 学会等名 日本心理学会（招待講演）
4. 発表年 2015年

〔図書〕 計6件

1. 著者名 小野善康	4. 発行年 2017年
2. 出版社 朝日新聞出版	5. 総ページ数 216
3. 書名 消費低迷と日本経済	

1. 著者名 小野善康、大澤真幸、木村草太、中島岳志	4. 発行年 2016年
2. 出版社 左右社	5. 総ページ数 204
3. 書名 ぼくらは未来にどうこたえるか	

1. 著者名 Shinsuke Ikeda	4. 発行年 2016年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 191
3. 書名 The Economics of Self-Destructive Choices	

1. 著者名 大竹文雄	4. 発行年 2015年
2. 出版社 日本経済新聞出版社	5. 総ページ数 217
3. 書名 経済学のセンスを磨く	

1. 著者名 Editors: Shinsuke Ikeda, Hideaki Kiyoshi Kato, Fumio Ohtake, Yoshiro Tsutsui	4. 発行年 2016年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 717
3. 書名 Behavioral Economics of Preferences, Choices, and Happiness	

1. 著者名 Editors: Shinsuke Ikeda, Hideaki Kiyoshi Kato, Fumio Ohtake, Yoshiro Tsutsui	4. 発行年 2016年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 669
3. 書名 Behavioral Interactions, Markets, and Economic Dynamics	

〔産業財産権〕

〔その他〕

基盤研究S「長期不況の行動経済学的分析」
<https://www.iser.osaka-u.ac.jp/S-Theory/>
 大阪大学社会経済研究所ホームページ
<https://www.iser.osaka-u.ac.jp/index.html>

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	池田 新介 (Ikeda Shinsuke) (70184421)	大阪大学・社会経済研究所・招へい教授 (14401)	
研究分担者	松島 法明 (Matsushima Noriaki) (80334879)	大阪大学・社会経済研究所・教授 (14401)	
研究分担者	芹澤 成弘 (Serizawa Shigehiro) (90252717)	大阪大学・社会経済研究所・教授 (14401)	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	青柳 真樹 (Aoyagi Masaki)		
研究協力者	石田 潤一郎 (Ishida Junichiro)		

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	敦賀 貴之 (Tsuruga Takayuki)		
研究協力者	花木 伸行 (Hanaki Nobuyuki)		
研究協力者	堀井 亮 (Horii Ryo)		
研究協力者	明坂 弥香 (Akesaka Mika)		
研究協力者	犬飼 佳吾 (Inukai Keigo)		
研究協力者	大竹 文雄 (Ohtake Fumio)		
研究協力者	小川 一夫 (Ogawa Kazuo)		
研究協力者	常木 淳 (Tsuneki Atsushi)		

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	舛田 武仁 (Masuda Takehito)		
研究協力者	小原 美紀 (Kohara Miki)		
研究協力者	花岡 智恵 (Hanaoka Chie)		
研究協力者	周 愚 (Zhou Yu)		
研究協力者	パラマニック アヌップ (Pramanik Anup)		

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計8件

国際研究集会 The 2nd Spain-Japan Meeting on Economic Theory	開催年 2018年～2018年
国際研究集会 III MOMA Meeting	開催年 2016年～2016年
国際研究集会 Osaka Conference on Growth, Stagnation and Macroeconomic Fluctuations	開催年 2015年～2015年
国際研究集会 Oxford-Osaka Economic Theory Workshop	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 ISER- CPB Joint Workshop: Secular Stagnation in Japan and Europe	開催年 2019年～2019年

国際研究集会 The 3rd Spain-Japan Meeting on Economic Theory	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 The 4th Spain-Japan Meeting on Economic Theory	開催年 2020年～2020年
国際研究集会 The 2nd ISI-ISER Young Economists Workshop	開催年 2020年～2020年

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
インド	Ashoka University	Indian Statistical Institute		
オーストラリア	Monash University	Australian National University	University of Sydney	
フランス	Ecole Polytechnique			
英国	University of Warwick	University of Oxford		
スペイン	Universidad Pablo de Olavide	Universidad de Granada	Universidad de Malaga	
Canada	University of Manitoba			
Germany	University Duisburg-Essen			
米国	スタンフォード大学	ノースウェスタン大学	ブラウン大学	他8機関
オランダ	グローニンゲン大学	Tinbergen Institute		
香港	香港大学			